

2019年版 レディースクラスルール(フットベースボール)

レディースクラス(フットベースボール)のルールは、フットベースボールオフィシャルルールによるほか、以下の通りフットベースボールオフィシャルルールを一部変更して適応のこととする。

章	項	号	改正
第1章 競技場	1	(1)	・塁間は16m、投本間は8mとする。
		(3)	・境界線は、ファウルラインから6m外側に、ファウルラインと平行に引く。 ただし、本塁後方は本塁ベースの下方の頂点を起点として、半径6mで4分の1の円弧をひく
		(4)	・スリーフィート(走者区域)は、ファウルラインの外側1mの位置に、一塁から本塁に向かって8mの長さでファウルラインと平行に引く。
		(8)	・キック制限区域は、本塁ベースの下方の頂点を起点として、半径6mで、一塁から三塁のファウルラインまでの間に、4分の1の円弧をひく
第2章 用具	5	(1)	・ユニフォームは全員揃いのもので、背中または胸に15cm四方形程度の大きさの番号を付け、(以下同文、省略)
			・ユニフォームが不足した場合は、ユニフォームを着用者が非着用者と選手交代の際に名前を名乗るとともに着替える。(19年特別ルール)
第3章 プレイヤー	1(改定)		・1チームは競技者10名と控え選手10名以内で、他に監督1名・コーチ2名以下で構成する。 (基本、プレイヤーは6名以上でゲーム成立とするが、プレイヤー5名で及び監督、もしくはコーチが捕手の任を担うことを認める)
		(2)	・出場競技者のうち、中学生以上22歳以下(学年で規定)の選手を「ヤングプレイヤー」とする。「ヤングプレイヤー」は、打席に就いた時点で1ストライクとする。「ヤングプレイヤー」は、メンバー表に『Y』と記入し識別のためタスキ等を身につける。 ・出場競技者のチーム間での貸し借りを認める。 【ハンデ点】ヤング4人目から1人につき1点を相手チームに付加する。(最大10点)ただし、両チームともヤング4人以上出場の場合はハンデ点は相殺して付加する
	1-2(追加)		※「指名打者」とは、打撃専門のプレイヤーをいう。 指名打者(DH)制は採用してもよいが、その人数は常に1人で、試合開始から試合終了まで継続しなければならない。
		(1)	・指名打者はどの守備者についてもよいが、試合開始前に蹴り順表にその記号(DH)と氏名(背番号)を記入する。
		(2)	・指名打者の蹴り順はその試合中は同じ順位である。
		(3)	・指名打者は守備につくことはできない。
		(4)	・指名打者はいつでも代打者または代走者と交代できるが、その交代したプレイヤーが次の指名打者になる。
		(5)	・指名打者は、いったん試合から退いた後は再びその試合にプレイヤーとして参加できない。
		(6)	・指名打者のついた守備者は攻撃には参加できない。 その試合中、守備者としてのみ参加可能とする。